

指定管理者制度導入施設の管理運営検証結果【検証シート】

施設の名称	山形県飯豊少年自然の家	指定管理者	株式会社飯豊町地域振興公社
所在地	西置賜郡飯豊町大字添川3535-33	県担当課	教育局生涯教育・学習振興課
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日	(電話番号)	(023-630-3343)
検証期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日		

検証項目	指定管理者による自己検証	県(施設所管課)による評価・検証	
1 仕様書等に沿った管理・運營業務の履行状況			
① 管理・運營業務の履行状況	<p>指定管理者スタートの今年度は、大きな事故、怪我やトラブルも無く施設管理業務を務めることができました。所長をはじめとした施設及び県担当課の職員の方々から多くの協力をいただいたこと、新型コロナウイルスが5類に移行したことにより、利用団体数370(対132%)、実利用者数9,219人(119%)、延べ利用者数11,544名(対123%)と、コロナ禍前の数字に近づいてまいりました。ただ、少雪の影響で2回予定していたスノーフェスティバルとスノーチューブ利用予定の19団体が取消しになり、利用団体数が減少したこともあり、目標利用人数に到達出来なかったことが残念でした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前より、ひび割れが発生していた屋外マンホールの蓋2枚を交換し、野外活動の安全を向上させました。 ・所バスの走行不足によるバッテリーの劣化対策のため新しいものと交換し、トラブルを未然に防ぐ努力を行いました。 	評価	<p>《評価の理由》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県と指定管理者の連携・協力体制のもと、包括協定の仕様書に基づき、利用者の安全・安心に努めた適切な管理運営がなされている。 ・指定管理初年度であり、自主事業の実施には至らなかったが、地元地域に根差したきめ細やかな運営により、利用者数の増加につながっている。 ・施設設備の安全点検の実施等により、要修繕箇所などを早期に発見し、対応するよう努めている。 ・所バスの運用に対しては、速やかに救急時における対応マニュアルの作成及び緊急連絡体制を整備した。
② 管理・運営上の課題・問題点(改善すべきこと)	<ul style="list-style-type: none"> ・外観等の修繕、補修を計画的に進めて行きたいと考えております。道路脇にある「入口案内看板」「施設名の入った三角木製看板」「一般駐車場案内看板」の補修 ・展望台の塗装が剥げ落ち見た目がよくないため、展望台全体の錆止めと塗装を行います。 ・排煙窓を開閉させるワイヤー修理が2か所必要ですが、一部の故障で、排煙窓全体には問題は無い状況です。 ・厨房の特に夏場の労働環境改善が急務となっております。厨房職員休憩室に次年度エアコンを導入し、安息できる場所を設けるようにします。 	<p>《課題等の原因分析》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設設備の老朽化が進み、要修繕箇所が増加している。 ・夏場の酷暑対策が必要となっている。 	
課題・問題点への今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化に対しては、利用者の安全確保を第一とし、引き続き、県と指定管理者で協議しながら、適切に必要な修繕を実施していく。 ・酷暑対策としては、昨年度末に導入した可動式エアコンの稼働状況を踏まえ、今後の対応を検討する。 		
2 利用者からの要望等への対応			
① 意見・要望等及びその対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・アスレチック遊具の復活を望む声が多数あり、補強、修繕をおこない、吊り橋を含め4つの全ての遊具を6月に復活させました。 ・ハイキングコースの表示版が「擦れや汚れて見づらい」旨の意見があり、全ての表示板を更新しました。 ・食事の際「飲み水が欲しい」旨の要望が以前からあったので、令和6年度からウォーターサーバー2台を食堂に設置することにしました。 	評価	<p>《評価の理由》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者からの意見・要望に対し、積極的に改善し、利用者アンケートにおいては「満足」と「概ね満足」で99.7%と、非常に高い評価を得ている。
意見・要望等への今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続して利用者アンケート等を実施し、寄せられた意見・要望については可能な限り対応を検討していただき、更なる満足度向上に努めていただきたい。 		
3 指定管理者制度活用効果			
① サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> ・少雪の中でもチューブ滑りが安全に出来るよう、ロータリー車を使用しコース整備を行いました。 ・アスレチック遊具を安心安全に利用してもらえよう、利用がある日は必ず点検を行いました。 ・そばアレルギーに対応するため、ウレタン枕を12個購入し、アレルギー対象者本人だけでなく、部屋の枕全てを交換出来るようにして「1人で寝る」ことができました。 ・企画事業では、公社他施設職員に援助してもらい「ヤマメのつかみ捕り」に加えて「ヤマメの塩焼き」を行い好評を得ました。 ・所バスの冬場運行には必ず添乗員を同乗させ、利用者の乗降時や方向転換時に安全確保に努めました。 	評価	<p>《評価の理由》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の満足度を高め、快適に過ごすことができるよう、利用者の目線に立ち、安全管理や衛生管理の強化に努めている。 ・野外活動の充実を図るための整備や好評だった企画の復活など、よりよい活動実施のための環境整備を実施している。 ・広報活動においても、令和6年度からの新たなホームページの運用や新たなSNSの導入に向け、積極的に検討を進めた。
② 経費の節減	<ul style="list-style-type: none"> ・厨房業務と清掃業務の全てを委託業者を通さず、公社で直接行いました。このことで中間マージンがなくなり、大きく経費節減ができました。 ・令和6年1月より、電力供給会社を東北電力から「おきたま新電力」に切り替え、若干ですが電力代の引き下げができました。 ・無駄な明かりは消す意識を全職員で共有し、実践しました。 ・冷暖房時に扇風機で対流させ、冷暖房効率を高める工夫を行いました。また、設定温度は冷房28度、暖房20度に徹底しました。 	評価	<p>《評価の理由》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務費や光熱費の節減のため、自助努力を行い、全職員で意識を高く持ち、身近な取組を徹底するなど、経費の削減に努めている。
③ その他(地域の活性化、雇用の確保等)	<ul style="list-style-type: none"> ・年度途中に68歳シニア1名、60歳と62歳の定年後継続雇用者2名を地域から採用しました。これまでの経験を生かしての施設維持管理業務を行っていただいています。 ・興譲館、南陽、小国、置賜農業など、地域の高校からボランティアとして、多くの協力をいただけるように努めました。 ・「いいでクラブ」では、地元の老人クラブの方にしめ縄作りの指導をお願いいたしました。 ・「夜空を見上げよう」では、いいで天文台に講習、講義を依頼し、飯豊町内の施設アピールを行いました。 	評価	<p>《評価の理由》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元地域における職員の雇用や学生ボランティアの活動に大きく貢献し、地域と密に連携しながら事業を展開することで、地域の活性化につながっている。
総合的な評価	<ul style="list-style-type: none"> ・県と指定管理者の連携・協力体制のもと、安全・安心できめ細やかな施設運営が行われている。 ・事業展開や広報活動においては、これまでの地元根差したノウハウが活かされ、利用者の回復につながっており、今後も施設の満足度向上に努めていただきたい。 ・令和6年度からは、新たに自主事業の実施を検討されており、更なる利用者の拡大に期待したい。 		

【評価指標】

- A : 仕様書等に定める水準を上回っている等、優れた対応がなされている。
 B : 概ね適正に実施されている。
 C : 部分的に改善等を要するところがあるが、既に対応済み又は対応見込みである。
 D : 仕様書等に定める水準に達しておらず、大いに改善を行う必要がある。

注) 検証項目については、施設の特性等に応じて適宜追加することができるものであること。